

架け橋

北消防署の落成式を行いました

(詳細は2ページ)



主な内容

- 天草広域連合長就任あいさつ・北消防署落成式…… 2
- 平成29年中の火災・救急の概要…………… 3
- 不審火にご注意を!! ほか…………… 4～5
- ベール品質検査が実施されました…………… 6～7
- 北消防署に救助工作車を配備…………… 8

2018.6

第42号



天草広域連合長就任のあいさつ

天草広域連合
広域連合長 中村 五木

このたび、平成30年4月11日付けで引き続き広域連合長に就任いたしました。その職責の重さを痛感するとともに、初心にかえり決意を新たにしているところでございます。

さて、天草広域連合は、本年度で設立から20年目を迎えます。これまで、常備消防やごみ処理、介護認定審査会の運営など、皆様方に身近な事務を行っておりますが、地方交付税の段階的な減少など、関係2市1町を取り巻く財政状況は、今後ますます厳しくなっております。

引き続き関係2市1町と連携を深め、住民の皆様方のさらなる福祉の向上を目指してまいりますので、これまでに増して、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

北消防署新庁舎落成式が執り行われました

平成30年3月7日（水）上天草市大矢野町において、北消防署の落成式が執り行われました。式典後には、餅投げも行われ、近隣の保育園児や多くの住民の方にも参加していただきました。

北消防署は、平成28年4月1日に旧大矢野分署から署へ格上げされ、松島町を管轄する松島分署、姫戸町、龍ヶ岳町を管轄する東天草分署を受け持っており、指揮車、消防車、救急車、更に2月に配備された救助工作車の4台の緊急車両で、大矢野町はもとより、上天草市管内の災害に対応しています。

今後も、防災拠点としての機能を十分に発揮し、住民の生命、身体、財産を守り、安心、安全な暮らしを支えていきます。



救急件数が5,796件、火災件数は46件

＝平成29年中の火災・救急の概要＝

※()は去年の件数

消防本部警防課では、天草管内における平成29年中の火災、救急の概要をまとめました。

■**火災件数** は、前年より6件増の46件（40件）となりました。

種別で見ると、「建物」火災が27件（22件）、枯草やごみ等が燃える「その他」火災が17件（15件）、「車両」火災1件（2件）、「林野」火災1件（1件）、「船舶」火災0件（0件）、「航空機」火災0件（0件）となっています。

火災による死者は、1人（1人）、傷者は9人（5人）でした。

出火原因の主なものは、枯草火災等の種別に分類される「たき火」が14件で最も多く、「こゝろ」が5件、「ストーブ」が4件と続いています。いずれも屋内外における火気取扱いの不注意が大部分を占めています。

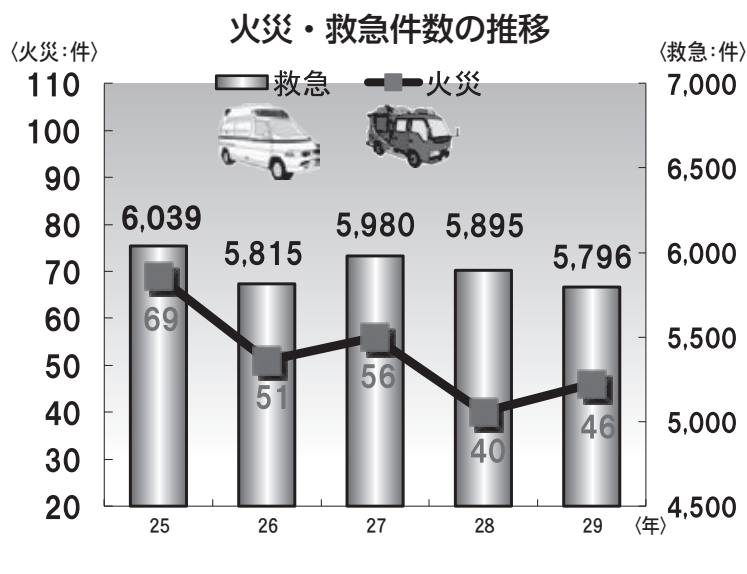
■**救急件数** は、5,796件（5,895件）発生し、前年より99件の減少となりました。

種別の上位は急病が3,489件（3,533件）、一般負傷が907件（962件）、転院搬送等が788件（784件）、交通事故が355件（407件）の順であり、急病が全体の60.0%（59.9%）を占めています。このうち夏の猛暑の影響による熱中症（疑い含む）は119件（131件）ありました。

傷病の程度別で見ると、中等症が最も多く45%（52%）、入院を必要としない軽症が40%（46%）、重症が15%（2%）となっています。

搬送人員は、5,243人で年齢構成別に見ると65歳以上の高齢者が3,742人（3,746人）で全体の約71%（71%）を占め、全国平均57.2%（平成28年統計）と比較するとかなり高く、管内における高齢化の影響がうかがえます。

■**ヘリの出動件数** は、105件（106件）で昨年と同程度で推移しています。内訳は、病院間搬送での出動件数が58件（50件）、救急現場付近へ直接出動した件数が47件（56件）となっており、救急現場から搬送された傷病者のうち13件（8件）は天草管内の医療機関に搬送されています。



▲熊本県防災消防ヘリ

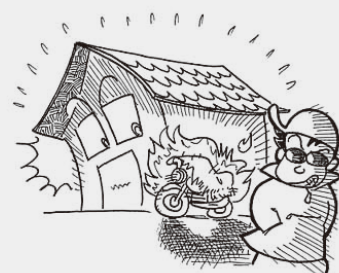


▲ドクターヘリ

不審火にご注意を!!

全国で発生する火災のうち、最も多い原因は放火です。全火災のうち、火災原因が放火・放火の疑いによるものは約16%を占めています。

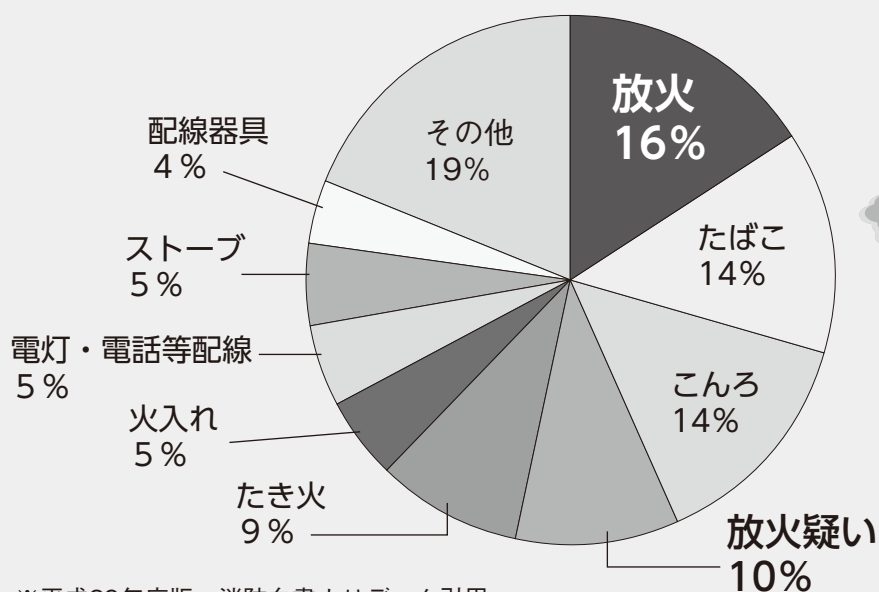
不審火による火災は、人目につきにくい時間帯、場所が多く発生しています。消防署、消防団も地域を巡回するなどの対策をとっていますが、地域全体として、放火されにくい環境づくりにご協力をお願いします。



放火防止対策

- 建物のまわりに燃えやすいものを置かない
- 夜間用照明機器（センサーライト等）を設置し建物のまわりを明るくする
- 家を空ける際や空家、物置等には必ず施錠する
- 建物のまわりの薄暗く死角となる場所を減らす
- ポストに郵便物をため込まない
- 地区単位で放火防止対策の取組みを強化し、地域一体として警戒心を高める

平成28年出火原因別火災件数



※平成29年度版 消防白書よりデータ引用



ホテル・旅館等に対する表示マークの交付

平成30年4月6日(金) 消防本部消防長室において、ホテル・旅館等に対する表示制度に基づく「表示マーク」の交付式が執り行われました。交付式では、申請ホテルである天草市亀場町アマクササソニタカミツホテルの代表 横島龍一氏（株式会社レッドハピネス 代表取締役）と防火管理者 山下義海氏に対し、平野消防長より「表示マーク(銀)」が交付されました。

表示制度とはホテル・旅館等の関係者からの申請に基づき消防機関が検査した結果、消防法令のほか重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に対して「表示マーク」を交付する制度で、建物やホームページに「表示マーク」を掲出することにより、利用者等に建物の安全情報を提供するものです。



▲表示マーク(金) ▲表示マーク(銀)

「小型煙火」の消費には「許可」が必要です！

- 地域や事業所の夏祭り等で「小型煙火」を消費する場合は、消費者が申請を行い「許可」を受ける必要があります。また、「小型煙火」を消費しようとする者は所定の講習を受け、臨時手帳の交付を受けなければ消費することができません。
- 「小型煙火」とは、紙製筒を数十本あるいは数百本束ねて、その紙製筒に充填された煙火部品が連続して発射され効果を現す煙火(花火)のことです。(打揚煙火を除く。)
- 煙火消費の許可申請は消費日の1ヶ月前までに行ってください。

設置していますか？

命を守る住宅用火災警報器

設置は義務です！火災から大切な命、財産を守るため住宅用火災警報器を設置しましょう。また、せっかく取り付けた住宅用火災警報器も、いざというときに正常に機能しなければ意味がありません。日ごろの維持管理もお願いします。



点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的に作動確認をしましょう。

作動確認をしても警報器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです。警報器の本体または電池を交換しましょう。

※お問い合わせ：天草広域連合 消防本部 予防課 ☎0969-22-3305

プラスチック製容器包装の べール品質検査が実施されました

平成30年4月18日に、熊本市の(株)エコポート九州において、プラスチック製容器包装の品質検査が実施されました。べール品とは、廃プラスチック類などを圧縮し梱包したものを言います。今回の検査においては、各市町の取組みとご協力により良好な結果（Aランク）でした。今後も継続して適正な分別をしていただきますようお願いします。

◆べール品質検査状況



▲本渡地区清掃センター（リサイクルセンター）から搬入されたべール品のうち検査用保管分 5個



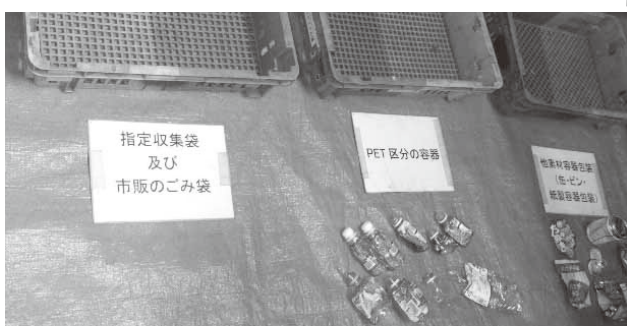
▲保管分5個の中から3個を選出



▲3個をバラバラに！



▲手作業で適正物と不適物に選別



▲選別した該当品目以外のものを分類ごとに区分



▲分類された不適物を各品目ごとに計量

容器包装比率評価	容器比率（重量比）
プラスチック製容器包装	98.2%
汚れの付着したプラスチック製容器包装	0.13%
指定収集袋及び市販のごみ袋	0%
PET区分の容器	0.25%
他素材の容器包装	0.32%
容器包装以外のプラスチック製品	0.27%
事業系のプラスチック製容器包装	0%
その他	0.11%

禁忌品評価	
医療系廃棄物 注射針、注射器、点滴セットのチューブ、針等の混入	無
危険品 ガスライター、ガスボンベ、スプレー缶、乾電池、刃物、カミソリ、ガラスの破片等の混入	

こんなものが
混入していました!!

今回、危険品の混入もなく、
堂々のAランクでしたが、プラ
製容器包装の不適合物としてこん
なものが入っていました。



注意して
いただくこと!!



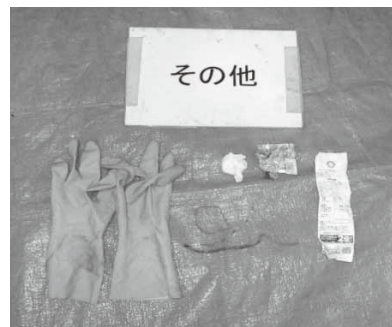
▲容器包装以外のプラスチック製品
くし、PPバンド、ざる、タッパの蓋、
保存用のパック、バラなど



▲他素材容器包装
缶(スチール製)、カップめんの蓋
(紙製) など



▲ペット区分の容器
ペットボトルに出してください



▲その他
ゴム手袋、レシート(紙)

カミソリやガラス類、注射針、ライターなどの危険品は絶対に出さないでください。
選別の際、作業員のけがや爆発事故の原因になります。また、上記写真のものは、プラ製容器包装
の対象となりませんので、ご面倒ですがそれぞれのごみ、資源に分別して出してください。
各地区の資源物回収拠点やセンターへ直接出すときは、資源物ごとに分別してお出ください。

◆収集した資源物のリサイクルの状況（平成29年度）

分別収集した資源物は、当連合施設で選別や圧縮処理された後、中間処理業者へ引き渡され、
最終的に熊本県内外の工場ですべてリサイクルされ、再び商品に生まれ変わっています。

資源物の種類	行き先	再商品化された品目例
ペットボトル	水俣市	洗剤ボトル類、卵パック、繊維など
白色発泡トレイ・発泡スチロール	熊本県内	額、ケース など
プラスチックの袋・容器包装類	西日本	プラスチック容器、合成木材など
新聞・チラシ	八代市・熊本市	製紙原料・新聞原材料
雑誌	鹿児島県	製紙原料
厚紙・その他の古紙	大分県	雑誌原材料
ダンボール	熊本県内・西日本	ダンボール・製紙原材料
飲料用パック類	大分県・愛媛県	製紙原料・トイレットペーパー
布類	熊本県内	工業用ウエス(雑巾)、古着
空き缶類(アルミ・スチール)	熊本県内	鋼材、アルミ缶
ガス缶類	大阪府	自動車用部品
生きビン類	熊本県内	ビールビン、一升ビンなど再利用
ビン類(透明・茶色・その他の色)	岐阜県	飲料用ビン原料
食用油	天草市	BDF燃料として給食配送車や移動図書館車等の燃料として利用
蛍光灯	北九州市	蛍光灯類原料
乾電池類	熊本県内	工業製品
生活金物類	熊本県内	工業製品
小型家電	福岡県	電子機器等部品原料

北消防署に救助工作車を配備！

平成30年3月1日、天草広域連合消防本部で2台目となる救助工作車が、上天草市大矢野町の北消防署に新たに配備されました。

本車両は、主に上天草全域の交通事故や自然災害による救助事案等に出動し、大規模災害が発生した場合には、緊急消防援助隊として全国の被災地で活動を行います。

車両後部には、最新の救助資器材も積載されており、より迅速的確な救助活動ができるようになりました。



- 車両寸法：全長 7.73m
全幅 2.29m
全高 3.16m

- 総重量：11,810kg
- 排気量：6,400cc
- 乗車定員：6名

【車両積載品】

大型油圧スプレッダー
大型油圧切断機／救命索発射銃
マット型空気ジャッキ
油圧ジャッキ／可搬ウインチ
エンジンカッター／チェーンソー
有毒ガス測定器／化学防護服
水難救助器具／バスケット担架



空と海と人とのふれあい

再生紙を使用しています。

天草広域連合

〒863-0001 熊本県天草市本渡町広瀬1687番地2
TEL：0969-24-3188
FAX：0969-24-2726
HP <http://amakusa-kouikirengo.or.jp/>